

神戸港の脱炭素化に向け「Jブルークレジット」購入申込の募集開始 ～神戸空港島におけるブルーカーボン創出プロジェクト～

神戸市では、神戸港のカーボンニュートラルポート（CNP）形成に向け、ブルーカーボン生態系によるCO₂吸収源としての評価など、港湾における環境価値創出に関する検討を進めています。

この度、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）が創設し、運用する「Jブルークレジット」制度において、神戸空港島におけるブルーカーボン生態系の創出活動により吸収・貯留されたCO₂の吸収量が認証され、これに基づき「Jブルークレジット」が発行されました。この「Jブルークレジット」につき、以下のとおり、その購入申込者を公募する手続きが開始されましたのでお知らせします。

1. 公募期間

令和4年12月28日（水）～令和5年1月27日（金）

（申込状況等により期間満了前に購入申込の受付を終了する場合があります。）

2. 公募機関

ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）

URL: <https://www.blueeconomy.jp/>

3. 発行されたクレジット数量

9.3 [t-CO₂]

4. ブルーカーボンとは

海洋生物の作用によって海に貯留された炭素を「ブルーカーボン」といいます。海底に貯留された炭素は数千年単位で貯留され、地球全体で、年間1.9億～2.4億トンの炭素が貯留されていると言われています。

※ ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）

「Jブルークレジット[®]（試行）認証申請の手引き Ver. 2.1」46頁より摘記

5. プロジェクトの特徴・PRポイント

神戸空港島周辺では、延長約6.7kmにわたる大規模な浅場を人工的に構築したことで、多様な海洋生物が生息し、豊かな生態系が育成・創出しています。

周囲の浅場には、シダモクやワカメなどの藻場が広範囲に繁茂しているほか、メバルやスズメダイなど多くの魚類も確認されており、豊かな生態系を育む場となっています。また、一年を通して豊富な魚類が釣れる人気の釣り場にもなっており、市民のレクリエーション空間としても寄与しています。

本プロジェクトで得られる資金は、神戸港のカーボンニュートラルポート（CNP）形成や神戸空港の脱炭素化に向けた取り組みの一環として、民間団体によるブルーカーボンの保全・創出活動に対する支援などに活用していく計画です。

（「プロジェクト概要」参照）

6. 公募申込の手続き

詳細については、以下の HP をご参照下さい。

URL: <https://www.blueeconomy.jp/credit/>

神戸空港島におけるブルーカーボン創出プロジェクト

■プロジェクトの概要

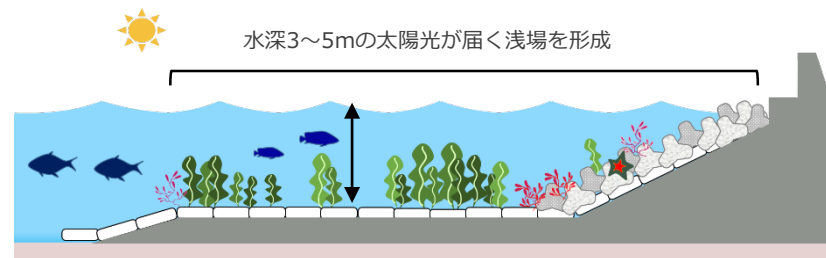
神戸市では、平成18年に開港した神戸空港島の造成に際して、周囲の護岸を緩やかな石積みとし、**太陽光が届く浅場を広範囲に構築**したほか、人工的な砂浜や磯浜などを配置することで、豊かな生態系の育成や環境の創造、市民が親しみやすい水辺空間の整備を進めてきました。また、緩傾斜護岸による生態系の育成・創造効果を把握するため、整備当初から**モニタリング調査を実施**しています。

■プロジェクトの特徴・PRポイント

神戸空港島周辺では、延長約6.7kmにわたる大規模な浅場を人工的に構築したことで、多様な海洋生物が生息し、豊かな生態系が育成・創出しています。

周囲の浅場には、シダモクやワカメなどの**藻場が広範囲に繁茂**しているほか、メバルやスズメダイなど多くの魚類も確認されており、豊かな生態系を育む場となっています。また、一年を通して豊富な魚種が釣れる人気の釣り場にもなっており、**市民のレクリエーション空間としても寄与**しています。

本プロジェクトで得られる資金は、神戸港のカーボンニュートラルポート(CNP)形成や神戸空港の脱炭素化に向けた取り組みの一環として、**民間団体によるブルーカーボンの保全・創出活動に対する支援**などに活用していく計画です。



護岸の一部は釣り場として開放され、多くの人々が訪れています。



空港島内の人工海浜では、ウミガメの保護活動が行われました。



シダモク(アカモク)



ワカメ



メバル



スズメダイ

